



# 大いちょう

高砂小学校だより 平成29年度 No. 8 048 (829) 2737

平成29年12月 1日  
さいたま市立高砂小学校

## 年の瀬に

校長 石山大介

早いもので平成29年酉年も最後の月を迎えました。この平成29年は、皆さん一人ひとりに大きな変化がありました。誰一人として例外のない変化です。それは、進学、進級でした。1年生は幼稚園や保育園から小学生に。2年生から6年生は、一つずつ学年が上がりました。とても大きな変化だったはずですが、進学や進級した時のこと覚えていますか。もう遠い昔のようで思い出せないことがあるかもしれません。それはそれでよいことです。前を向いて一生懸命に生きている証拠ですから。普段、なかなか自分では気づかないことですが、この一年間で皆さん一人ひとりの中には、成長しているところが必ずあります。それを自分でを見つけることは、意識をしないとできないことです。一年の締めくくりにこの時季に振り返りをして、自分の成長を見つけ出してください。それは、やがて来る次の年の生き方につながる大切なことです。

クリスマスカラーで飾られている浦和駅西口周辺を眺め、ふと、クリスマスにちなんだある百貨店のポスターのコピー文を思い出しました。紹介します。

### 「クリスマスの笑顔」

元手が要らない。しかも、利益は莫大。与えても減らず、与えられた者は豊かになる。  
一瞬間見せれば、その記憶は永久に続く。

どんなお金持ちでもこれなしでは暮らせない。家庭に幸福をもたらす。友情の合い言葉。

疲れた者にとっては休養、失意の人にとっては光明、  
悲しむ者にとっては太陽、悩める者にとっては自然の解毒剤となる。

買うことも、強要することも、借りることも、盗むこともできない。無償で与えて初めて値打ちが出る。

クリスマス・セールで疲れきった店員に、これをお見せしない者がございました節は、  
恐れ入りますが、お客様の分をお見せ願いたいと存じます。  
笑顔を使いきった人間ほど、笑顔を必要とするものはございません。

(出典：D・カーネギー「人を動かす」(山口博訳 創文社) 一部編集)

特に、「買うことも、強要することも、借りることも、盗むこともできない。無償で与えて初めて値打ちが出る。」の部分が気に入っています。皆さんは如何ですか。笑顔を絶やさずに先ず自分が「明るく 仲良く 進んで」生活し、お互いに「明るく 仲良く 進んで」の気持ちをたくさん創り出すことができれば素晴らしいですね。

今日、6年4組の交流学習に、さくら草特別支援学校の丸岡さんが参加しました。心のこもったおもてなしをしてくれた6年4組の皆さん、ありがとうございました。丸岡さんの笑顔が印象的でした。それを囲む6年4組の皆さんの笑顔もとても素敵でした。

何かと慌ただしい年の瀬に入りましたが、保護者、PTA、地域の皆様のどのご家庭におかれましても、ご家族そろって笑顔で素晴らしい新年を迎えられますよう、お祈り申し上げます。

そうそうこれを忘れてはいけません。子どもたちは、くれぐれも事件、事故に遭うことなく、元気な姿を成年の始業式に見せてください。お願いします。

